

2014 年度以前入学生

英語 I TOEIC600 点申請に関して

2014 年度以前に入学し、TOEIC 公開テストまたは三重大学生協主催のカレッジ TOEIC で 600 点以上を取得し、それによる「英語 I」科目の単位認定を申請する学生は、下記の必要書類を教養教育機構事務室前のレポートボックス(No. 11)に提出して下さい。

申請期間： 2015 年 7 月 17 日(金)～30 日(木) (厳守)

提出書類： (1)申請用紙 (レポートボックス横の台上にあります)

(2)TOEIC スコア証明書と学生証の 2 点を

重ねて 1 枚の紙にコピーしたもの (下図参照)

TOEIC スコア
証明書

学生証

※提出された書類は返却されません。 原本ではなく、必ずコピーを提出すること。(1)と(2)はホチキスで留めること。

上記に関する質問は、メールで英語学科目自習係教員

(小田 oda@ars.mie-u.ac.jp、吉野 y.yoshino@human.mie-u.ac.jp)

に問い合わせてください。

2015 年 6 月 10 日

(参考) 提出書類

TOEIC® Institutional Program (IP) Score Report

Production code: 111111
 Institution: THE INSTITUTE FOR INTL BUSINESS COMMUNICATION
 Test date: 20XX/04/01 ~ 20XX/04/10
 Center code: 2222
 Registration number: 0123456789
 Name: KUSAJI TARO
 Date: 1970/11/25

LISTENING
 Your score: 300
 5 ————— 495

READING
 Your score: 250
 5 ————— 495

TOTAL SCORE
 550

LISTENING
 300点前後のスコアを取得する受験者には一般的に以下の長所が認められます。
 ・短い会話において、特に聴取が難しいときは、話の主旨、目的、基本的な文脈が推測できることもある。
 ・長い聴取文において、情報の繰り返しや言い換えがあるときは、話の主旨、目的、基本的な文脈が理解できる。
 ・長い会話において、簡単な、または中級レベルの語彙が使用されることは、話の詳細が理解できる。
 ・長い聴取文において、情報が繰り返され、解答に必要な情報が話の最初か最後に表示されるときは、話の詳細が理解できる。情報が少し言い換えられていても、詳細が理解できる。

READING
 250点前後のスコアを取得する受験者には一般的に以下の長所が認められます。
 ・読まれた長文の文章においては、簡単な推測ができる。
 ・文章中に使われているのと同じ表現が問題に使用されているときは、事実に基づいた情報に関する問題に正答できる。
 ・正しい選択が文章中の情報に言い換えられたものであれば、事実に基づいた情報に関する問題に答えられることもある。
 ・一つの文、または二つの文にわたる情報を関連付けることができることもある。
 ・簡単な語彙が理解できる。中級レベルの語彙を理解できることもある。
 ・よく使用される、規則に基づいた文法構造が理解できる。文法以外に難しい言語的要素(難しい語彙が使われている、情報を関連付ける必要がある)がある場合でも、文法的に正しい選択ができる。

このレベルの受験者の一般的な弱点を見るためには、Score Descriptor Tableを参照してください。

ABILITIES MEASURED	PERCENT CORRECT OF ABILITIES MEASURED
短い会話、アナウンス、プレゼンテーションなどの中で聴取に集中して、会話の主旨に留意する。基本的な文脈を理解できる。	55%
長めの会話、アナウンス、プレゼンテーションの中で聴取に集中して、会話の主旨に留意する。基本的な文脈を理解できる。	54%
短い会話、アナウンス、プレゼンテーションにおいて詳細が理解できる。	60%
長めの会話、アナウンス、プレゼンテーションにおいて詳細が理解できる。	51%

100 0014
 東京都千代田区永田町
 2-14-2
 国際太郎 様
 *500001 #000001

三重大学
学生証

① 学生証とスコアレポートを重ねて、1枚の紙にコピーします。

② ①のコピーと申請用紙の2枚をホチキス留めにして提出します。